トピックス

■製品紹介（気体溶解装置 サンソルバー）

左：サンソルバー使用
右：サンソルバー未使用

当社のマイクロバブル技術を応用した装置で、気体を液体の中に効率よく溶解させて高濃度気体溶解水を生成することで、陸上養殖の酸素使用量削減に使用されておりましたが、この度、農業分野におきましても、一部の果物や野菜の育成に利用することで生育が良くなり、収穫までの期間が短縮されることが確認されました。今後はさまざまな分野で観察を重ね、農業の未来に貢献してまいります。

会社概況

（2020年９月30日現在）

商　　号	三相電機株式会社
設　　立	1957年（昭和32年）10月11日
資 本 金	885,721,400円
従業員数	588名（連結）
事業内容	小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

株式の状況

（2020年９月30日現在）

会社が発行する株式の総数	１８,０００,０００株
発行済株式の総数	４,６０６,１００株
株主数	６３２名
１単元の株式の数	１００株

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月開催
基準日	定時株主総会　毎年３月31日 期末配当　毎年３月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目４番１号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
大阪市中央区北浜四丁目５番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先）〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目８番４号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）(0120)782－031

（URL）https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

公告の方法　当社のホームページに掲載いたします。
http://www.sanso-elec.co.jp/ir/koukoku/

上場証券取引所　東京証券取引所

この報告書は、当社第64期中間の状況をお知らせするものであり、株主総会の招集や配当金のお支払いをお知らせするものではございませんので、ご了承願います。

株主のみなさまへ

第64期中間

株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日

代表取締役社長　黒 田 直 樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2020年度（2020年４月１日から2020年９月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わりないご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2020年11月

三相電機株式会社

証券コード　6518

営業の概況

■業績の概況

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって企業収益は大幅に落ち込み、インバウンド需要の消失や、世界経済の下振れを背景に輸出も大幅に減少いたしました。個人消費も、外出自粛の強まりや雇用環境の悪化を背景に大きく低迷しており、緊急事態宣言が解除された後は、外出自粛の緩和などを背景として景気持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナの流行再拡大によって経済活動停滞の長期化が懸念されるため、収益環境の改善余地は限定的となる見込みで、依然として不透明な状態が継続しております。

当社グループにおきましては、新型コロナが世界的に拡大する中、第１四半期では、５Ｇやテレワーク関連需要の拡大を受けて半導体業界は回復基調を維持し、米中貿易の緊張の高まりから安全在庫の確保が進んだため、受注は回復傾向にありましたが、第２四半期では経済活動停滞の長期化を受け、半導体製造装置用ポンプの受注に陰りが見られました。

一方、産業機械用モータでは、新型コロナによる消費の冷え込みが大きく影響し、自動車関連では、国内、北米、欧州の自動車産業が低迷して市場が縮小したことで、企業の投資判断に悪影響を及ぼしており、工作機械業界をはじめとして設備投資には慎重な企業が多く、受注環境は厳しい状態が続いております。

中国市場におきましては、年度前半には新型コロナの拡大により事業活動が停止に追い込まれた影響を受け、厳しい結果で推移しましたが、事業活動が再開されたことで、前半の遅れを取り戻して回復基調が続いております。空調用モータの受注は引き続き堅調に推移しており、更に付加価値の高いポンプの受注拡大に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は62億87百万円（前年同期比89.4％）となりました。

営業利益は１億77百万円（前年同期比108.0％）、経常利益は２億65百万円（前年同期比134.3％）、親会社株主に帰属する四半期純利益は１億39百万円（前年同期比107.3％）となりました。

■今後の取り組み

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中、社会経済活動と感染拡大防止のバランスを図りながら、政府の経済対策の効果により消費は緩やかに上向くことが見込まれます。しかしながら、感染症の拡大状況によっては、経済回復の時期がさらに後ずれすることも予想され、不透明な状況が続くものと思われます。

当社グループにおきましては、新型コロナの蔓延長期化や米中貿易摩擦の先鋭化などで、経済活動の回復が遅れ、半導体業界で設備投資を抑制する動きを受け、半導体製造装置用ポンプの受注は低迷しておりますが、各企業は新型コロナ対策として在宅勤務やリモートワークの導入を加速させており、データセンターなどのインフラ需要の高まりと、自動車や５Ｇなどへの半導体需要は堅調に推移し、中長期的にも確実に拡大傾向が続くものと思われます。

また、産業機械向けモータは、米中貿易摩擦の影響で外需が落ち込み、新型コロナ拡大で内需全体が落ち込む結果となり、新型コロナの収束や世界経済の回復傾向が見られない限り、企業の設備投資意欲は低調に推移するものと見込まれます。しかしながら今後は、メーカーの在庫消化が進むことで、受注は増加傾向で推移することが見込まれますが、その時期は不透明な状況にあります。

このような環境の中で当社グループといたしましては、受注の急激な変動に対応するため、サプライチェーンの見直しおよび生産体制の柔軟性向上に努めるとともに、環境に適合したエコロジー技術の習得と製品化の取り組みを進めてまいります。更にユニット製品の市場拡大に注力し、顧客満足度の高いサービスを提供していくことに最善を尽くしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績の概要

売上高

（単位：百万円）

経常利益

（単位：百万円）

親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）

要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	（2020年９月30日現在）
資産の部	
流動資産	8,591
固定資産	6,758
有形固定資産	4,876
無形固定資産	94
投資その他の資産	1,787
資産合計	**15,349**
負債の部	
流動負債	3,884
固定負債	2,482
負債合計	**6,366**
純資産の部	
株主資本	8,864
資本金	885
資本剰余金	1,840
利益剰余金	6,217
自己株式	△79
その他の包括利益累計額	119
純資産合計	**8,983**
負債純資産合計	**15,349**

要約連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	（自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
売上高	6,287
売上原価	4,997
売上総利益	1,289
販売費及び一般管理費	1,112
営業利益	177
営業外収益	101
営業外費用	13
経常利益	265
特別利益	－
特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	264
法人税、住民税及び事業税	95
法人税等調整額	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	139